

## 教育環境分科会 2009 年度 第 1 回会合 プログラム

**テーマ：キャンパスの情報化に支えられた学習環境**

- 日 時：2009 年 9 月 9 日(水) 13:15 ~19:30 [12:45 受付開始]
- 会 場：富士通(株)本社 24 階 大会議室 [東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]
- 参加対象：本会合は、SS 研, CS 研, IS 研会員の皆さまにご参加いただけます。
- 定 員：100 名(予定)

**■ ■ プログラム ■ ■** [敬称略]

開会挨拶	中西 通雄 (大阪工業大学)	13:15~13:20
司会 岩田 則和 ( 広島大学 )		
(1) 情報基盤システムが支えるケータイ世代の学びの場とは？ ー学びやすい IT 環境づくりへの名古屋工業大学の取り組みー 名古屋工業大学 情報基盤センター センター長 松尾 啓志 名古屋工業大学では、2007 年 4 月より、全学システム連携の共通基盤を含む情報基盤システムの運用を開始した。このシステムは IC カード PKI 認証、個人の属性・権限を統一的に管理する統一 DB、シングルサインオンの起点となるポータルシステム、IC カード出席システムなど数十のサブシステムから構成される巨大システムである。 さらに、学生間のリアル・バーチャル社会でのコミュニケーション、教員との双方向のコミュニケーションの円滑化を目的とし、さらにケータイ世代を意識した様々なアプリケーションを、この基盤システム上に構築した。 本講演では、システムの開発・運用に加えて、2 年間の運用経験に基づく、さまざまな知見についても報告する。	13:20~14:10 報告:50 分	
(2) 学生同士の教えあいを生み出す CUBE 西宮の学びの場 ー独創的な授業を提供する甲南大学の取り組みー 甲南大学マネジメント創造学部 井上 明 2009 年 4 月に開学した甲南大学マネジメント創造学部(愛称 CUBE)では、「自ら学び、共に学ぶ力」「自ら考え行動する力」を養うことを学部の目標としています。この目標を実現するために、PBL を学部カリキュラムの中心に据え、学生同士、および教員と学生との学びの場をより効果的に実現するための校舎、教室、ICT 環境を構築しました。 今回、CUBE の教育を支援する下記のシステムを活用した学びの形を紹介します。 学部専用 SNS での学びのコミュニティ、学びのツールとしての PC 利用(ネットブック必携)、Felica ケータイ、IC カードによる個人認証一元化、プロジェクト型学習に適した少人数教室、AWK(教室のどこにいても AV 機器制御)、Wivia(無線プロジェクターによるグループワーク支援)、学内ポータル、グループワークも可能な PC 教室 また、これらの環境を活用した教育実践を通じて得られた、教育的効果、可能性、そして課題について報告します。	14:10~15:00 報告:50 分	
休憩		15:00~15:20
司会 井上 明 ( 甲南大学 )		
(3) 携帯電話対応コメントカード DB システムを活用した 知識創造型ユニバーシティな学び ー学生参加型双方向学習環境への滋賀大学 GP での取り組みー 滋賀大学教育学部附属教育実践総合センター 所長 宮田 仁 受講者が所持している携帯電話(i-mode, Softbank, ez-web)や PDA に対応したコメントカード DB システムを開発した。大学での多人数講義において、教官が課題テーマの提示や発問をし、受講者が各自の携帯電話からコメントカードシステムの携帯電話サイトに接続し、課題に対する自分の意見や質問を送信できるシステムである。受講者からの意見や質問をテーマやキーワードを元にテキストマイニングで整理し、リアルタイムで大講義室の液晶プロジェクタに映し出すデータベース機能を有している。受講者から携帯電話を通して書き込まれた意見や質問等のコメントを講義者が本システムを活用し、検索・抽出して講義中に取り上げながら、講義を展開していくアプローチを行った。その結果、多人数講義においても、テーマに対する各受講者の活発な意見や質問等の書き込みがあり、ディスカッションが活性化するとともに、授業コミュニケーションの改善が図れた。本取組みは文科省の現代 GP に平成 18 年度~20 年度に採択された。	15:20~16:30 報告:50 分 実演 20 分(予定)	
休憩		16:30~16:40
(4) 総合討論		16:40~17:40 討論:60 分
閉会挨拶	中西 通雄 (大阪工業大学)	17:40~17:45
懇親会	会費:¥500 # お飲み物と乾き物のみご用意した、簡易的な情報交換会です。	18:00~19:30

## 開催趣旨

情報通信技術(ICT)を活用した教育環境の整備は、教育の実施体制面のみならず、大学の基幹業務面からも、大きな注目を集めており、昨年は教育の"効果"に注目し実施体制面からの議論を行ってまいりました。今年度は、この教育の効果を"環境"として支えるための大学としての組織取組を取り上げ、教育環境としてあるべき姿と、それをどのように実現するのかという、技術的な面のみならず組織運営の面からも議論を深めて行くことを活動方針に掲げさせていただきました。

本年度第1回の教育環境分科会は、「キャンパスの情報化に支えられた学習環境」と題して、3大学での先駆的な事例をご紹介します、会員の皆さまと議論を深めたいと考えております。

一般的には「学習環境」という言葉は多様な捉え方ができるかもしれませんが、教育環境分科会では、教育情報基盤システムで提供される様々な教育サービスや教育ツールが中核をなす環境と捉え、それらを活用した教育とその効果について議論すべく、第1回会合を企画いたしました。議論・検討の中で、「教育環境としてあるべき姿」や、その環境を実現するための「大学組織としての取り組み」等について、参加者の皆さまと共有できることを期待しております。今回の会合で紹介させていただく3大学の事例は、それぞれに先駆的な取り組みであり、独自の工夫がなされております。ご講演いただく先生方はいずれも、それぞれの取り組みを中核として、推進されたメンバーであり、取り組みへの深い思い入れと、そこでのご苦労の一部を、参加される皆さまと共有したいと考えております。

また、取り組みを推進する上で諸々の問題についても、気楽な形で意見交換できる場になればと、分科会に引き続き懇親会を企画させていただいておりますので、こちらにも奮ってご参加ください。

## 会場へのアクセス

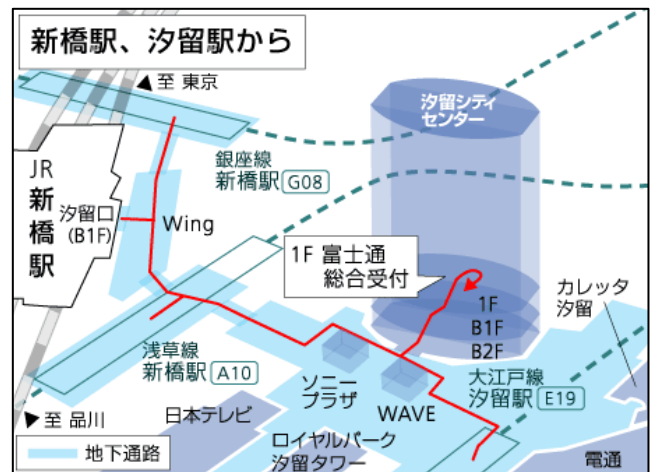
★オフィスロビー(1階)にSS研受付を設置します。受付経由で、24階の大会議室へお越しください。

### ●電車でのアクセス

- ・ JR 新橋駅  
汐留口(地下1階)から徒歩3分
- ・ 東京メトロ 銀座線 新橋駅(G08)  
出口4(地下1階)から徒歩3分
- ・ 都営地下鉄 浅草線 新橋駅(A10)  
汐留方面出口(地下1階)から徒歩2分
- ・ 都営地下鉄 大江戸線 汐留駅(E19)  
JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口  
(地下2階)から徒歩1分

### ●羽田空港から新橋駅までのアクセス(約30分)

- ・ 東京モノレールとJR山手線  
羽田空港から浜松町経由新橋駅
- ・ 京浜急行と都営浅草線  
羽田空港から都営浅草線新橋駅(A10)  
#成田空港行や押上行など、都営浅草線直通電車をご利用ください。



## 参加について

- ▶ 参加対象：SS研、CS研、IS研会員の方であれば、どなたでもご参加いただけます。
- ▶ 参加費：無料 ただし情報交換会に参加される場合は、会費として500円を徴収させていただきます。
- ▶ 定員：100名(予定)です。
- ▶ 服装：クールビズをお勧めします。(室温28℃)
- ▶ ご注意：当日、会場にお越しいただく際のエレベータは、昼食時13:00くらいまでの時間帯は、大変な混雑が予想されます。ご注意ください。
- ▶ なお、当日お越しの際はお名刺をお持ちください。

## お申し込み・詳細 (SS研ウェブサイト)

お申し込み/詳細

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/activity/sectionmeeting/edu/2009-1/program.html>

## 【お問い合わせ】SS研究会事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター 富士通(株)カスタマーリレーション部内

TEL:03-6252-2582 FAX:03-6252-2934 URL:<http://www.sskn.gr.jp/> E-mail:ssken@ssken.gr.jp